

福井地区子連

100名参加

10月18日(日)

in 福井市中藤屋内運動場

第52回 福井市子ども大会

今年度は、いろいろな行事が中止となる中、福井市子連として今出来ることをやろう！ということで「福井市子ども大会」を午前と午後の2回に分けて開催しました。内容は、ジュニア・リーダーによるレクリエーション(巨大オセロゲーム)、岡保地区の事例発表、そしてニュースポーツの「モルック大会」です。「モルック」はスキットルという数字の入った12本の木の棒をモルックで倒して点数を競い合う、フィンランド発祥のスポーツです。モルック協会の方のご指導のもと、2~3人でチームを組んで競いました。慣れるまではちょっと戸惑いましたが、すぐに拍手と歓声が上がリ、子どもも大人も大興奮！アルコール消毒・検温・マスク着用などの感染予防にも心がけ、今年は、新しいスタイルでの「子ども大会」をみんなで楽しみました。



おおい町子連

21名参加

10月10日(土)

in 八ヶ峰家族旅行村

おおい町子ども会デイキャンプ

おおい町子ども会育成会では、10月10日(土)にデイキャンプを開催しました。「ニジマスつかみ」や「火起こし体験」、昼食は「飯ごう炊さん」の炊き込みご飯と「パーベキュー」、と参加者21名がキャンプならではの体験をととても楽しんでいました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、子どもたちが自由に遊べる場が少なかったため、このような機会を作ることができ、楽しんでもらった「デイキャンプ」になったと思います。



越前市子連

86名参加

9月21日(月・祝)

in 鯖江青年の家

コロナ禍の中で秋季研修会

中止となった夏季研修の代替として秋季研修会を開催しました。当日の市中感染状況をみて中止も考えていましたが、このような状況下でも開催できたことは良かったと思います。研修内容としてはジュニア・リーダーを中心に感染防止に注意しながら、できないこと、できることを話し合っテプログラムを組み、当日は保護者の方にも検温や健康チェック・除菌作業など協力して頂きました。今後の活動の在り方を考える良い機会となりました。



鯖江市子連

42名参加

12月13日(日)

in 福井県立鯖江青年の家

鯖江市子ども会ジュニア・リーダー-冬期研修会

[やっとなんと会えた~♪♪@>_<@] 子ども会ジュニア・リーダー冬研は、検温と「3密」防止を徹底し活動スタート。コロナ禍でのコミュニケーションや体験を意識した研修内容に、参加者は心を驚びかみにされたようです。活動「猫とネズミ」は「消毒液とコロナ」と今を意識した言い方に変え実施。危険・予知・トレーニングではコロナの学習を取り入れ、それを班ごとのクイズラリーで再度学べるように工夫されていました。

活動後、リーダーは「コロナウイルスについて学んだ知識を今後の生活に活かしたい」「コロナ禍でも諦めず、『自分達ができることはないか』と考えたことでよい研修ができた」などと総括していました。成長したジュニア・リーダー達を誇らしく思います。



おめでとう栄光の表彰

- List of award recipients and categories including National Children's Sports Meeting, Ooi Day Camp, Echigo Autumn Training Meeting, and Sakaebashi Junior Leader Winter Training Meeting. Recipients include individuals and groups from various municipalities like鯖江市, 敦賀市, 小浜市, 若狭町, etc.

安全啓発講習会

2月7日(日) in 福井県生活学習館

県感染拡大警報が延長される中、福井大学医学部附属病院感染制御部 岩崎博道教授を講師としてお迎えし、「子ども会活動における感染症対策の注意点」についてご講演いただきました。

感染から発症まで無症状期があるため、とりわけユニバーサルマスク(自分が感染源にならないために常時マスクを着用すること)の効果が高いこと。クラスターを起こさないために3密空間を作らないこと。COVID19は主として飛沫感染と接触感染が原因だから、飛沫対策に加え、丁寧な手指消毒がとても重要であることと、その適切なタイミングなど、私たちの「新しい生活様式」について実例をあげながら教えていただきました。

この講習会では、イベントを開催しないのではなく、「正しく恐れ」、感染しない・させない対策を適切に行うことによって、かつての生活や子ども会活動を取り戻す可能性を見出すことができました!

